



第1章

水道事業ビジョン策定にあたって



第1章 水道事業ビジョン策定にあたって

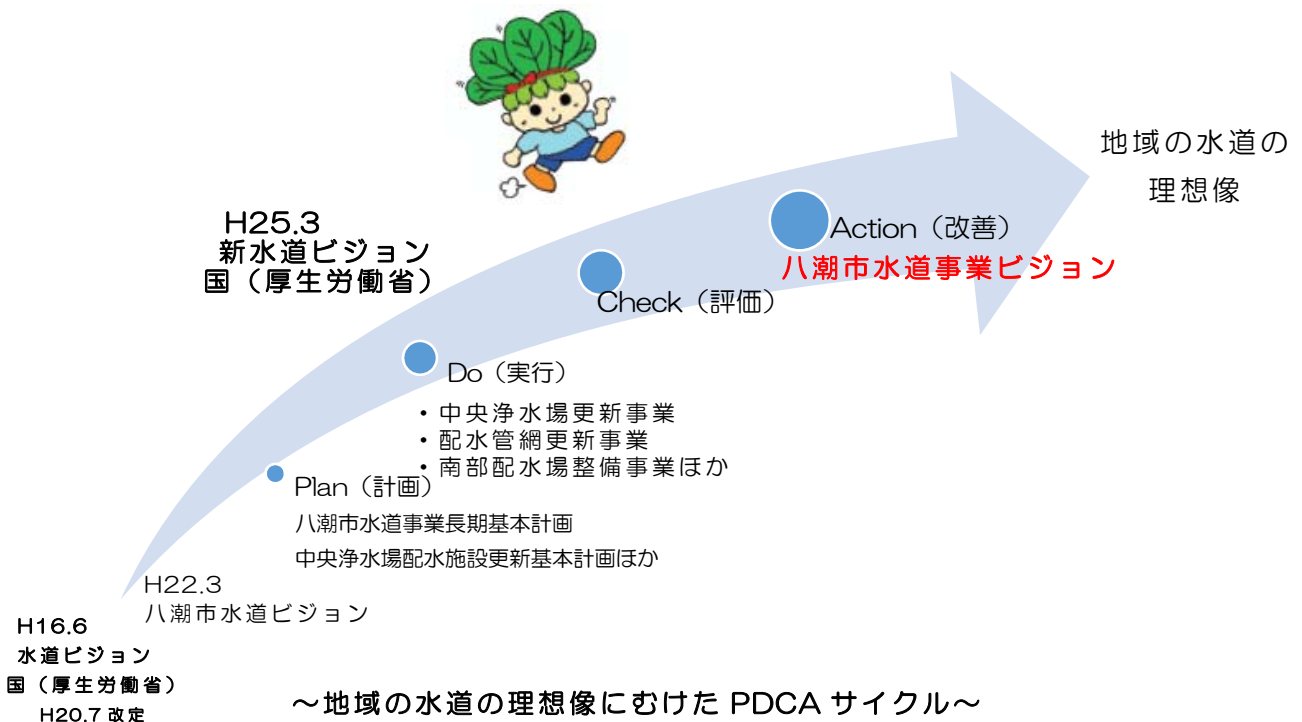
1. 水道事業ビジョン策定の背景

本市水道事業[※]は、将来にわたって安全で安心できる水を、安定的に供給するシステム構築のための施設水準や、管理技術の向上を目標と定め、「安全で安定性の高い水の供給体制づくり～災害に強い八潮の水道～」を基本理念として、平成22年3月に計画期間を平成22年度から平成31年度までとする「八潮市水道ビジョン」を策定して、水道事業経営を進めてきました。

その間、東日本大震災の発生や人口減少社会の到来など、水道事業を取り巻く環境が急激に大きく変化しています。

平成25年3月、国(厚生労働省)は、新たに水道事業の理想像と、その理想像を具現化するため、「安全」、「強靱」、「持続」の観点を基本に、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示した「新水道ビジョン」を策定・公表しました。

このことを受け、本市でも「八潮市水道ビジョン」における事業の進捗状況の評価を行うと共に、国の「新水道ビジョン」の内容を踏まえて「八潮市水道事業ビジョン」を策定することとしました。





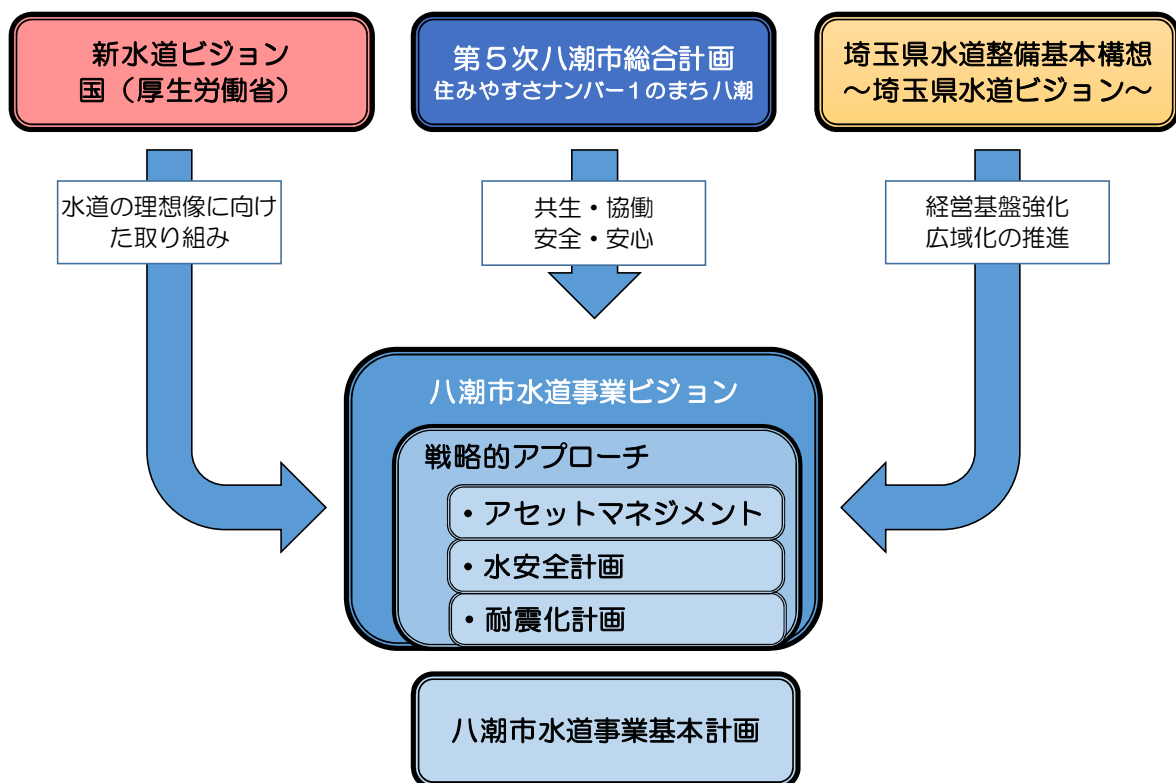
2. 水道事業ビジョン策定の方針

八潮市水道事業ビジョンの策定にあたり、本市では戦略的アプローチとして、これまでに「アセットマネジメント[※]」、「水安全計画[※]」、「基幹管路[※]の耐震化計画」等の策定に取り組んできました。

本ビジョンでは、これらの取り組みを、「第5次八潮市総合計画」で示された基本構想や埼玉県水道整備基本構想（埼玉県水道ビジョン）との整合を図りながら、国が「新水道ビジョン」で掲げている、「安全」、「強靱」、「持続」の観点を基本に、お客様の声を取り入れながら、中期的に実施していく施策・取り組みを体系立てて取りまとめていきます。

そして、今後50年、100年先も安全で良質な水の安定給水の実現に向け、「八潮市水道事業基本計画」として展開を図り、計画的に事業を進めていきます。

なお、本ビジョンの計画期間は平成30年度から平成39年度までの10年間としますが、計画期間中に水需要の動向や、社会情勢に大きな変化が見られる場合は、新たな考え方にに基づき、適切に計画の見直しを図ります。





八潮市水道事業ビジョンについて

本ビジョンは、国の推進する新水道ビジョンに示された水道の理想像に向け、「安全」「強靱」「持続」のそれぞれの観点から目標を設定し、課題解決の基本的な取り組みを示すものです。

課題解決にあたっては、「アセットマネジメント」の実施、「水安全計画」及び「耐震化計画」の策定が戦略的アプローチとして位置づけられ、必須事項となっています。

- アセットマネジメント

中長期的な観点から「更新需要の見通し」及び「財政収支の見通し」を把握し、水道事業の持続性の観点から妥当性を評価、問題点・課題の対応方針の検討を行います。

- 水安全計画

水源から給水栓に至る水道システムに存在する危害を抽出・特定し、それらを継続的に監視・制御し、安全な水の供給を確実にするシステムを構築するものです。

- 耐震化計画

強靱な水道の実現のため、計画的に管路の耐震化を図るものです。本市では管路の耐震化の優先度検討結果を基に今後10年間を目途に、市内の水道施設における基幹管路及び、避難所や病院等の最重要施設までの配水管を耐震化していく計画となっています。